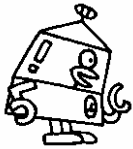


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /  
人と動物のたんじょう / 理解シート

## 人間のへその中は、どんなしくみの



へそは、お母さんの体内にいたとき、<sup>えいよう</sup>栄養を送ってもらっていたへそのおがとれたあとだよ。だから、中は何もなしさ。

<sup>ちち</sup>乳をのんで育つほ<sup>にゅうどうぶつ</sup>乳動物には、必ずへそがある

動物は、たまごで生まれるグループと、親と同じような形をした赤ちゃんで生まれるグループの2種類に分けられます。赤ちゃんで生まれるグループは、お乳で育てられ、ほ乳動物とよばれています。ほ乳動物のなかまには、必ず、へそがあります。へそは、へそのおがとれたあとです。

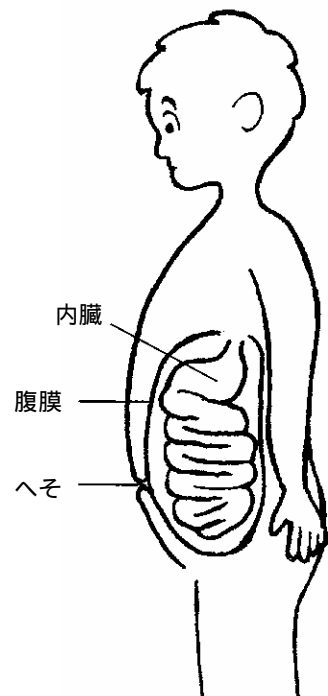
赤ちゃんがお母さんの体内で大きくなるときには、へそのおを通して、お母さんから栄養などをもらったり、赤ちゃんの体内にできるいらぬ物を運び出したりしています。そのため、赤ちゃんで生まれる動物には、へそのおは、なくてはならないものだからです。

海でくらすクジラやアザラシも、ほ乳動物のなかまなので、へそをもっています。

へその中には、皮しかない

へそのおは、赤ちゃんが生まれ出たあとは必要がない物なので、自然にとれて落ちてしまいます。赤ちゃんのときへそのおとつながっていた血管の先は、ちぢんでしまい、うすい皮におおわれてしまいます。だから、へその下は、図のように、腸などの<sup>ないぞう</sup>内臓をつつんでいる<sup>ふくまく</sup>腹膜しかありません。

腹膜には、いたさを感じる<sup>しんけい</sup>神経がたくさんきているため、へその中をほじったりすると、おなかがいたくなったりしやすいのです。



人間のへそのしくみ